

## <応用特訓> 9 「保育実習理論」

©2025sakurakosensei 転載・転売・流用禁止

### <問題>

#### 問1

次の曲は、本居長世作曲「七つの子」の冒頭の4小節である。これに関するA～Dのうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。



- A この曲は3拍子である。
- B この曲の作詞者は、野口雨情である。
- C 上記の「ア」と「イ」の音程は、長3度である。
- D この曲の調性は、イ長調である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

## 問2

次の A ~ D を意味する音楽用語をア~ウの中から選んだ場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

A pp

ア だんだん弱く

イ とても弱く

ウ 弱めに

B ritardando

ア だんだん速く

イ もとの速さで

ウ だんだん遅く

C ad libitum

ア 急速に

イ 自由に

ウ 愛らしく

D allegro

ア 快速に

イ ゆるやかに

ウ おどけて

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	ア	イ	イ	ウ
2	ア	イ	ウ	イ
3	イ	ウ	ア	ア
4	イ	ウ	イ	ア
5	ウ	ア	ア	イ

### 問3

次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

#### 【事例】

新任保育士（以下 N）と主任保育士（以下 S）が何枚かの幼児期の絵を見ながら話合っています。

#### 【設問】

（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- N 「この絵は顔から直接手足が出ていますね。顔の絵なのでしょうか？」  
S 「これは（ A ）といって、3歳頃に現れる初期の人物表現です。」  
N 「この絵は外から見たお家の絵ですが、見えないはずの部屋の中の様子まで描いてありますね。」  
S 「（ B ）ですね。実際に見えない部分も描くという幼児期の特徴的な絵です。子どもは自分が知っていることを描きたいのですね。」  
N 「この絵には画用紙の上の方に水色の線が描いてあり、下の方に茶色の線が描かれていますね。これらの線はなんですか？」  
S 「水色の線は空を表しているのでしょう。下の茶色の線は地面を象徴している（ C ）といわれる表現です。無秩序にかきたいものを描く頃から、それらが位置する場所を示したいと感じるようになったといえますね。」  
N 「この絵の太陽やチューリップには顔が描いてあります。動物ではないのに顔を描くのは不思議です。」  
S 「このように描くのは、この子が対象に、お友達のように心を通わせているからでしょう。この表現は（ D ）表現といわれています。このような表現に対し、保育者は共感的に受け止めることが大切です。」

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	頭足人	レントゲン画	基底線	マンダラ
2	頭足人	多視点図	平行線	アニミズム
3	胴体人	レントゲン画	平行線	マンダラ
4	胴体人	多視点図	基底線	アニミズム
5	頭足人	レントゲン画	基底線	アニミズム

#### 問4

次の文は、保育現場で子どもが使用する用具の取り扱い方の留意点に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A はさみを人に渡す場合は、柄を持ち、刃の部分を相手に向けて渡すようにする。
- B 接着剤は、有機溶剤が含まれている方が安全である。
- C はさみを選ぶ時は、子どもの利き手を配慮する必要がある。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ |
| 4 | × | × | ○ |
| 5 | × | × | × |

#### 問5

次の文は、造形活動の際の重要な視点に関する説明である。( A ) ~ ( E ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

造形活動における視覚的な要素として、「線」、「( A )」、「色彩」、「質感」などが考えられる。一つの風景などを「線」の要素で見た場合、「長い—短い」、「( B )」、「直線的—曲線的」などの言葉で表現することができる。また、「( C )」の要素としては、「ざらざら」、「ふわふわ」、「つるつる」などの表現ができる。クレヨンや絵の具などの一般的なセットは、( D )の要素で配列されているといえる。

以上のような( E )な見方は、子どもたちの造形活動において、子どもたちの心の動きや作品を読みとる際に役立つ。

(組み合わせ)

- |   | A  | B     | C  | D  | E   |
|---|----|-------|----|----|-----|
| 1 | 重量 | 高い—低い | 五感 | 形態 | 総合的 |
| 2 | 重量 | 高い—低い | 五感 | 重量 | 総合的 |
| 3 | 形態 | 重い—軽い | 五感 | 質感 | 分析的 |
| 4 | 形態 | 太い—細い | 質感 | 色彩 | 分析的 |
| 5 | 寒暖 | 太い—細い | 質感 | 価格 | 主観的 |

問6

次の詩を読んで、【設問】に答えなさい。

やぎさんゆうびん

しろやぎさんから おてがみ ついた  
くろやぎさんたら よまずに たべた  
しかたがないので おてがみ かいた  
さっきの てがみの ごようじ なあに

くろやぎさんから おてがみ ついた  
しろやぎさんたら よまずに たべた  
しかたがないので おてがみ かいた  
さっきの てがみの ごようじ なあに

【設問】

次の文は、この詩についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A リフレインを用いた作品である。
- B 白と黒のコントラストで表現している。
- C 鈴木三重吉の創作である。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ |

## 問7

次の①～⑥の文のうち、保育所の保育士に求められる主要な知識及び技術についての考え方として、適切な文の数を一つ選びなさい。

- ① これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術。
- ② 子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術。
- ③ 保育所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術。
- ④ 子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術。
- ⑤ 子ども同士の関わりや子どもと保護者の関わりなどを見守り、その気持ちに寄り添いながら適宜必要な援助をしていく関係構築の知識及び技術。
- ⑥ 保護者等への相談、助言に関する知識及び技術。

- 1 2つ
- 2 3つ
- 3 4つ
- 4 5つ
- 5 6つ

## <解説>

### 問1 正答 4

- A × この曲は4拍子である。
- B ○ 野口雨情は、「七つの子」のほか、「しゃぼんだま」などを作詞している。
- C × アとイの間の鍵盤の数を数えると、シ・ド・ド#・レの4つであり、短3度に該当する。
- D × 調を確認すると、ファに#が1つついている。これはソを主音とするト長調である。

### 問2 正答 4

- A -イ pp (ピアノッシモ) の意味は、「とても弱く」である。
- B -ウ ritardando (リタルダンド) の意味は、「だんだん遅く」である。
- C -イ ad libitum (アドリビトゥム) の意味は、「(速度を)自由に」という意味である。
- D -ア allegro (アレグロ) の意味は、「快速に」である。

### 問3 正答 5

- N 「この絵は顔から直接手足が出ていますね。顔の絵なのでしょうか？」
- S 「これは(A. 頭足人)とって、3歳頃に現れる初期の人物表現です。」
- N 「この絵は外から見たお家の絵ですが、見えないはずの部屋の中の様子まで描いてありますね。」
- S 「(B. レントゲン画)ですね。実際に見えない部分も描くという幼児期の特徴的な絵です。子どもは自分が知っていることを描きたいのですね。」
- N 「この絵には画用紙の上の方に水色の線が描いてあり、下の方に茶色の線が描かれていますね。これらの線はなんですか？」
- S 「水色の線は空を表しているのでしょうか。下の茶色の線は地面を象徴している(C. 基底線)といわれる表現です。無秩序にかきたいものを描く頃から、それらが位置する場所を示したいと感じるようになったといえますね。」
- N 「この絵の太陽やチューリップには顔が描いてあります。動物ではないのに顔を描くのは不思議です。」
- S 「このように描くのは、この子が対象に、お友達のように心を通わせているからでしょう。この表現は(D. アニミズム)表現といわれています。このような表現に対し、保育者は共感的に受け止めることが大切です。」

\*頭足人は、顔から直接手足がついた人物の絵で、前図式期(3～5歳)の特徴の一つである。この時期は、知っているものを画面いっぱい描くことがあるため、カタログ期ともいわれる。

\*レントゲン画は、レントゲン表現、透視表現ともいう。本来は見えないはずのクジラの体内のピノキオ、ママのおなかの中の赤ちゃんなどを描く表現である。

\*基底線は、図式期(5～9歳)ごろの特徴の一つである。床や地面を表す線や帯のことで、ベー

スラインともいう。子どもが空間を認識したことを意味している。

\*アニミズムは、人間以外のものを擬人化してとらえる表現のことで、たとえば、太陽や花などに笑顔を描くなどである。

#### 問4 正答 4

A × はさみを人に渡す場合は、刃を相手に向けてと危険なので、柄の部分を相手に向けて渡すようにする。

B × 保育現場では、接着剤には有機溶剤が含まれていないものを選ぶ。有機溶剤には、シンナーなどがあり、常温では液体だが、揮発性が高いため、蒸気となって呼吸を通じて体内に吸収され、有害である。

C ○ はさみには、右利き用、左利き用、両利き用がある。右利き用と左利き用では、はさみのかみ合わせ部分にかかる力の配分が逆になるようにつくりられているため、利き手と反対用のはさみを使うと、うまく切ることができない。

#### 問5 正答 4

造形活動における視覚的な要素として、「線」、「(A. 形態)」、「色彩」、「質感」などが考えられる。一つの風景などを「線」の要素で見た場合、「長い—短い」、「(B. 太い—細い)」、「直線的—曲線的」などの言葉で表現することができる。また、「(C. 質感)」の要素としては、「ざらざら」、「ふわわ」、「つるつる」などの表現ができる。クレヨンや絵の具などの一般的なセットは、(D. 色彩)の要素で配列されているといえる。

以上のような(E. 分析的)な見方は、子どもたちの造形活動において、子どもたちの心の動きや作品を読みとる際に役立つ。

#### 問6 正答 2

A ○ リフレインとは、詩や歌の繰り返しの部分のことであり、「やぎさんゆうびん」においては、「しかたがないので おてがみ かいた さっきの てがみの ごようじ なあに」の部分である。

B ○ コントラストとは、対照や対比という意味である。ここでは、白と黒の明暗の対比を用いている。

C × 「やぎさんゆうびん」は、まど・みちおの創作である。鈴木三重吉は雑誌「赤い鳥」の主宰者である。

#### 問7 正答 5

「保育所保育指針解説」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」(1)「保育所の役割」エでは、「保育所の保育士に求められる主要な知識及び技術としては、次のようなことが考えられる。



すなわち、①これからの社会に求められる資質を踏まえながら、乳幼児期の子どもの発達に関する専門的知識を基に子どもの育ちを見通し、一人一人の子どもの発達を援助する知識及び技術、②子どもの発達過程や意欲を踏まえ、子ども自らが生活していく力を細やかに助ける生活援助の知識及び技術、③保育所内外の空間や様々な設備、遊具、素材等の物的環境、自然環境や人的環境を生かし、保育の環境を構成していく知識及び技術、④子どもの経験や興味や関心に応じて、様々な遊びを豊かに展開していくための知識及び技術、⑤子ども同士の関わりや子どもと保護者の関わりなどを見守り、その気持ちに寄り添いながら適宜必要な援助をしていく関係構築の知識及び技術、⑥保護者等への相談、助言に関する知識及び技術、の六つである。」と示されている。